

公益財団法人ダイオーズ記念財団
2026 年 10 月 1 日より公益財団法人大久保真一記念財団
助成金給付事業募集要項

1. 趣旨

公益財団法人ダイオーズ記念財団の助成金給付事業は、全ての人が安全に生き活きと働くことのできる快適なオフィス環境や労働環境、社会環境作りに貢献することを目的としています。

2. 募集期間

2026 年 7 月 1 日（水）～10 月 2 日（金） *2026 年 10 月 2 日消印有効

3. 助成金給付の対象

当財団の助成金給付の対象は、全ての人が安全に生き活きと働くことのできる環境に関する調査・研究を行う大学・研究所等における研究活動としております。

趣旨の通り全ての人が安全に生き活きと働くことのできる環境とは「快適な職場環境の提供」であり、目指しているのは、その職場環境の中で働く方々が、より生き活きと働いたり、研究したりできる環境の提供です。当財団の注力する主要な研究、活動分野の例は以下の通りです。

4. 助成金給付額

1 件 3 00 万円以内 * 助成金収支報告の監査を行います

* 返済の義務はありません * 他の助成金との併給は支障ありません

5. 助成金給付団体等数 個人・団体 1 ～ 5 件程度

6. 助成金給付期間 2027 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日

* 助成金の給付時期 2027 年 1 月下旬を予定

7. 手続き 助成金給付申請書（当財団指定用紙を使用）HP をご確認ください

【問い合わせ】

本件に関する問い合わせ受付は、以下メールアドレスをご利用ください。

問い合わせメールアドレス info@daiohs-zaidan.or.jp

公益財団法人ダイオーズ記念財団 事務局 中川 諭 宛

116-0003 東京都荒川区東日暮里 1 丁目 16-6-403

TEL 070-3107-6061

詳細は HP <http://www.daiohs-zaidan.or.jp>

The Daiohs Foundation
10th Anniversary

全ての人が 安全に生き活きと 働くことのできる社会へ

ダイオーズ記念財団は2025年で10周年を迎えます

このたび10周年を迎えられましたこと、皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これを機に、さらなる社会貢献を目指し、より一層邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

10月

一般財団法人ダイオーズ記念財団設立
大久保真一氏が初代表理事に就任

3月

内閣府より公益認定を受け、
公益財団法人ダイオーズ記念財団に名称変更

10月

大久保真一氏より
寄附金4億円

3月

初代表理事大久保真一氏逝去

4月

新代表理事に大久保陸氏就任

12月

大久保真一氏より遺贈金41億円

2015 — 2016 — 2017 — 2018 — 2019 — 2020 — 2021 — 2022 — 2023 — 2024 — 2025 —

助成事業 実績(2017~)

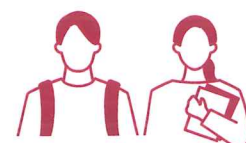
2団体	4団体	3団体	1団体	1団体	2団体	2団体	4団体	3団体
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

奨学金事業 実績(2016~)

33名	49名	50名	50名	30名	30名	30名	40名	59名	100名
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

支援奨学生累計

471名



助成先団体累計

22団体



10周年を迎えて

公益財団法人 ダイオーズ記念財団 代表理事

大久保 陸



おかげさまでダイオーズ記念財団は、10周年を迎えることができました。これも多くの方に支えられ、皆様のお陰と深く感謝しております。創設者である故大久保真一氏の「全ての人が安全に生き活きと働ける社会を作らなければならない」という理念を基に、奨学金及び助成金事業により一層励んでいければと存じます。これからも応援のほどよろしくお願いいたします。

「夢を与え、人を活かす」

公益財団法人 ダイオーズ記念財団 ファウンダー

大久保 真一



1941年東京・浅草生まれ。中央大学卒業、在学中、全日本学生写真連盟委員長。

読売広告社勤務を経て67年より米国と欧州の流通企業で研修。69年ダイオーズを設立。77年日本初のオフィスコーヒーサービスを事業化する。89年米国進出。財団創設者・故大久保真一氏は、日本初のオフィスコーヒーサービス事業を開始するなど、事業所を対象とした継続的なサービスの普及に大きな軌跡と功績を残してきました。一方で「これまで社会に育てていただいた恩返しをしたい」との想いととも、「若い人たちが安心して学べる社会、全ての人が安全に生き活きと働ける社会を作らなければならない」という考えから、2015年に私財を投じてダイオーズ記念財団を設立しました。財団の活動を通して、次世代を担う人々のため、そして国内外の社会環境づくりに少しでもお役に立ちたいとの創設者の想いを、これからも継承してまいります。

【役員】

代表理事 | 大久保 陸

評議員 | 牛尾 眞志 高田 不二彦 笠井 正史
丹治 勝秋 幣原 昇 須藤 真

理 事 | 大久保 洋 川津 泰人 黒田 秀雄
鈴木 健三 中田 敏夫

監 事 | 青嶋 潤一 松岡 天平



奨学生の声

Voice 1



岡田さん
工学部 機械システム工学科 /
宇宙工学卒業

奨学金の支えで実現する宇宙研究の第一歩

現在は、幼い頃からの夢であった宇宙に携わる研究者の卵として、大気圏突入体の研究を行なっています。大気圏突入の際の加熱を低減できる、パラシュートに代わる効率的な減速システムとして「柔軟エアロシェル」を提案しています。多くの人々に感動を届けた小惑星探査機はやぶさのようなサンプラリターンミッションや将来火星探査など、応用先は様々です。自ら発案し手を動かす過程で、宇宙機を生み出す難しさと面白さを実感しています。

ご支援いただいた奨学金は、JAXAの大型施設を用いた実験を行う際の移動費や、アメリカなど遠方の学会に参加した際の生活費など、主に研究に励むにあたって発生する費用に利用させていただいています。忙しい日々の中で金銭面での不安を感じることなく、研究に集中できる環境にご貢献いただいております。非常に有難く思っております。ご支援いただいた御恩を胸に、今後社会に貢献できる技術者となるよう精進します。

Voice 2



河上さん
融合理工学系

「時間の余裕」が研究の質を変えてくれた

ブルーカーボン生態系と呼ばれる海に炭素を蓄えることのできる沿岸・海洋生態系の研究をしています。その中でも特に海草(うみくさ)について研究を行っています。陸上の植物は根から土壌の栄養や水を吸い上げる際、蒸散を利用しますが、海の中の海草はそれを行うことができません。一体どのようにして栄養を取り込まれるのかということについて調査研究をしています。貴財団の助けによって、アルバイトの時間を減らし、日々の研究活動の時間を確保させていただいてい

ます。貴財団に援助していただいた一年間は、前年や学士課程の時と比べ、自分の取り組むべきことに集中できております。修士課程を修了した後は、一度社会に出て経験を積む予定ですが、大学・大学院で学んだことを社会に対し貢献・還元できるよう、これからも精一杯努力していきたいと存じます。

Voice 3



ハック アデリータ ハリマさん
グローバルビジネス学科

キャリア形成に向けた基盤作りが可能に

現在、武蔵野大学の英会話オンライン講師としても活動しています。また、バングラデシュ家庭の学生のためのベンガル語通訳としてボランティア活動にも積極的に参加しています。これらの経験を通じて、コミュニケーション能力や異文化理解のスキルを磨いています。ダイオーズ記念財団からの奨学金は、主に学費や教材費に充てています。これにより、経済的な負担を軽減し、学業に専念できる環境が整いました。また、奨

学金のサポートにより、研究活動やボランティア活動にも積極的に取り組むことができ、将来のキャリア形成に向けた重要な基盤を築いています。この支援により、学業成績の向上と社会貢献活動の両立が実現しています。

Report

2025年6月

奨学生の集いを開催いたしました

秋葉原の会議室にて、2025年度の総勢100名の奨学生が集まり、「ダイオーズ50周年の歩み」の動画鑑賞や、自己紹介・グループディスカッションなどで交流を深めました。皆様のこれからのご活躍を、心よりお祈りしています。



公益財団法人 ダイオーズ記念財団

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里1丁目16-6-403

TEL 070-3107-6061

お問い合わせ info@daiohs-zaidan.or.jp



ホームページはこちら
<http://www.daiohs-zaidan.or.jp/>



10th
Anniversary

The
Daiohs
Foundation

公益財団法人 ダイオーズ記念財団

夢を与え、
人を活かす